地区別防災カルテ　12．三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12

平成30年度作成

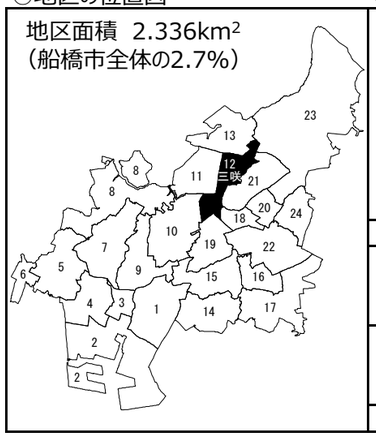
○地区の構成

三咲町
三咲1～9丁目
南三咲1～4丁目

○地区の概要

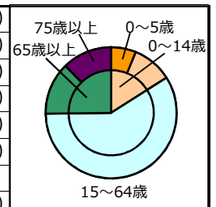
（位置）三咲地区は、市の北東部に位置する。
（地形）地形は、東隣の大穴地区と接するごく一部に谷底低地の盛土地があるほかは、すべて下総台地である。
（土地利用）古くから集落を形成していた県道夏見小室線沿いには、住宅の他に店舗などを始めとする沿道サービス系の土地利用が見られる。また、市街化調整区域の一部で宅地化が進んでいる。これ以外は、台地に特徴的な土地利用である畑および果樹園が広く分布している。
（交通）鉄道は、新京成線滝不動駅および三咲駅があり、幹線道路である県道夏見小室線が地区の北部から中部を縦断する。

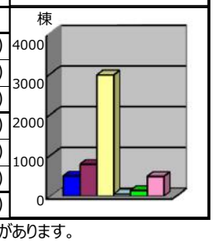
○地区の位置図



○社会条件

人口等	0～14歳	2,690	人	16.0%（対地区）
	（内0～5歳）	1,031	人	6.1%（対地区）
	15～64歳	9,893	人	58.8%（対地区）
	65歳以上	4,249	人	25.2%（対地区）
	（内75歳以上）	2,073	人	12.3%（対地区）
	人口（合計）	16,832	人	2.6%（対全市）
	人口密度	7,205	人/km²	
	世帯数	7,004	世帯	2.3%（対全市）
建物棟数				
木造	昭和45年以前	490	棟	10.0%（対地区）
	昭和46～55年	776	棟	15.9%（対地区）
	昭和56年以後	2,967	棟	60.6%（対地区）
非木造	昭和46年以前	49	棟	1.0%（対地区）
	昭和47～56年	133	棟	2.7%（対地区）
	昭和57年以後	478	棟	9.8%（対地区）
建物（合計）		4,893	棟	3.5%（対全市）





※建物棟数は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

○防災関連施設　（※下線はヘリコプター臨時離発着場）

一時避難場所		防災協力農地	面積　1,000　平米　筆数　1　筆
		自主防災組織	21／町会数81（結成率　32.4%世帯）
		防災・水防倉庫	三咲防災倉庫
広域避難場所		消防署	三咲分署
		消防団器庫	第11分団第1班・第2班
宿泊可能避難所	三咲公民館		
		警察署・交番・駐在所	
福祉避難所	北老人福祉センター，三咲公民館	給水施設	
		鉄道（駅名）	新京成線滝不動駅，新京成線三咲駅
帰宅困難者支援施設		災害拠点病院・災害医療協力病院	滝不動病院
保育園・幼稚園	三咲小鳩保育園，船橋あおぞら保育園，太陽の子船橋三咲保育園	その他の公共施設	
学校			
公民館	三咲公民館		

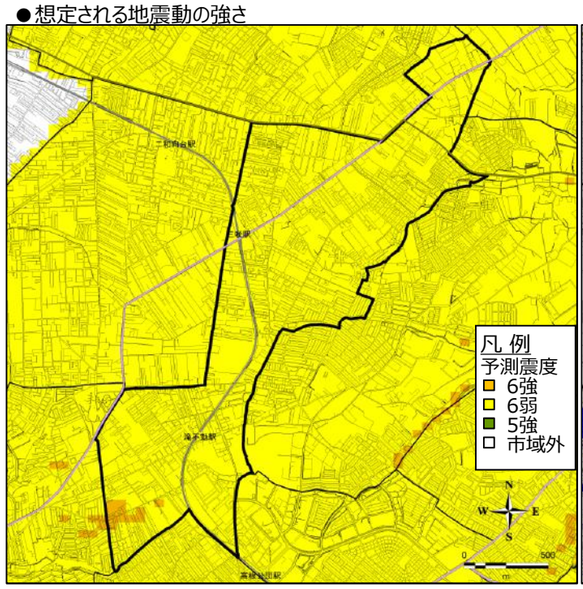
※津波一時避難施設については、**様式８**参照。
※高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設については、**別紙**参照。

○近年の災害履歴（平成25年～29年）

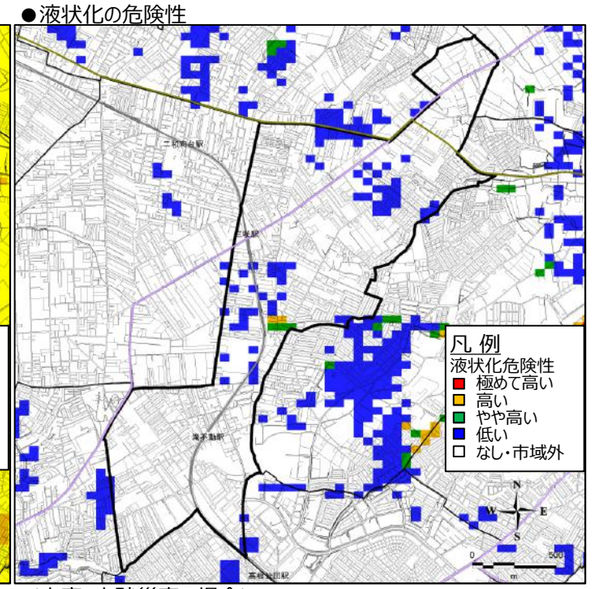
水害	平成25年6月25日　大雨（床下浸水2戸） 平成25年10月15日　台風26号（床下浸水1戸）

○災害予測の結果（図）
＜千葉県北西部直下地震の場合＞

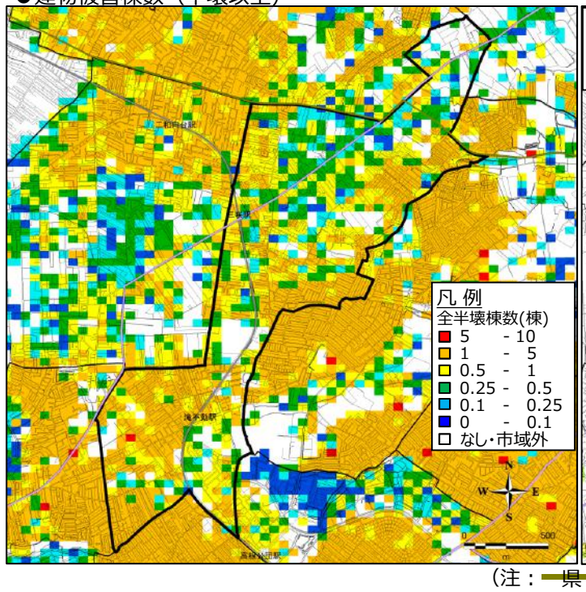
●想定される地震動の強さ



●液状化の危険性

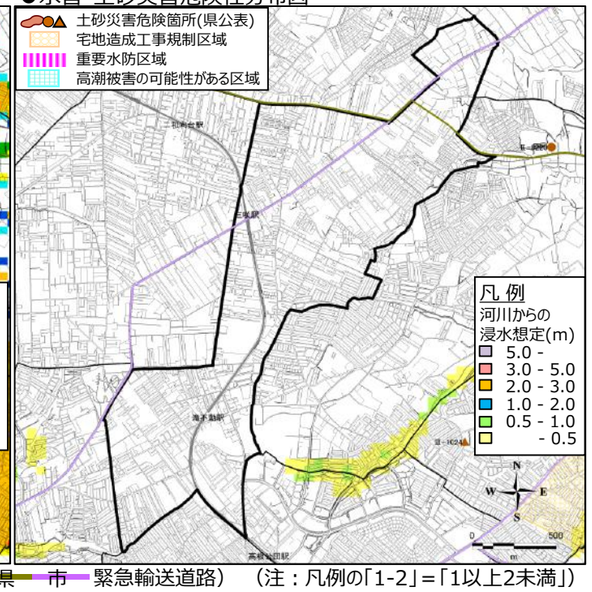


●建物被害棟数（半壊以上）



＜水害・土砂災害の場合＞

●水害・土砂災害危険性分布図



（注：県　市　緊急輸送道路）　（注：凡例の「1-2」＝「1以上2未満」）

○災害予測の結果（概要）

項目		主な予測結果	危険度評価 →高い	概要
千葉県北西部直下地震の場合	地震の揺れの強さ	平均震度6弱		強い揺れが予測されている。
	液状化の危険性	一部を除き危険性は低い		地区の大部分は台地上で危険性は低い。
	建物被害	全半壊率15%		強い揺れの範囲を中心に建物被害が予測されている。
	延焼（冬18時）	建物焼失割合3.1%		地区の南部で延焼の可能性が予測されている。
	人的被害（冬18時）	死傷者予測数113人		主に建物被害による負傷者が予測されている。
水害の危険性		危険性は低い		低地を中心に浸水被害が予測され、道路冠水事例も多い。
土砂災害の危険性		全体的に危険性は低い		地区内に傾斜地が少ない。
津波の危険性		浸水面積割合0%		危険性は低い。

防災関連施設分布図　12．三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12

○地震被害想定結果

千葉県北西部直下地震のケース

●原因別建物被害想定

原因	全壊棟数（棟）		半壊棟数（棟）	
	木造	非木造	木造	非木造
地震動（揺れ）	190	11	502	34
地盤の液状化	0	0	0	0
合計	190	11	503	34
急傾斜地崩落	0		0	
総計	201		537	
割合（対地区）	4.1%		11.0%	
市の合計	11,448		20,770	
割合（対市被害）	1.8%		2.6%	

●ケース別火災被害想定

	冬5時	冬18時	夏12時
焼失棟数（棟）	36	153	40
市の合計（棟）	1,300	5,862	1,365
割合（対市被害）	2.8%	2.6%	2.9%

●冬18時（風速8m/s）のケースでの人的被害想定

（冬18時の地区内の滞留人口　12,299　人）

原因	死者（人）	重傷者（人）	負傷者（人）
建物被害	10	12	73
火災（延焼拡大）	6	3	8
急傾斜地崩落	0	0	0
ブロック塀等	0	0	0
合計	16	15	81
市の合計	789	847	3,569
割合（対市被害）	2.0%	1.8%	2.3%

●自力脱出困難者数と避難所避難者数※

	自力脱出困難者数（冬5時）	避難所避難者数（冬18時）
地区合計	54	1,697
市の合計	4,907	105,544
割合	1.10%	1.61%

※ 避難所避難者数は、最大となる被災3日後に、市の宿泊可能避難所に避難する人の数を想定しています。

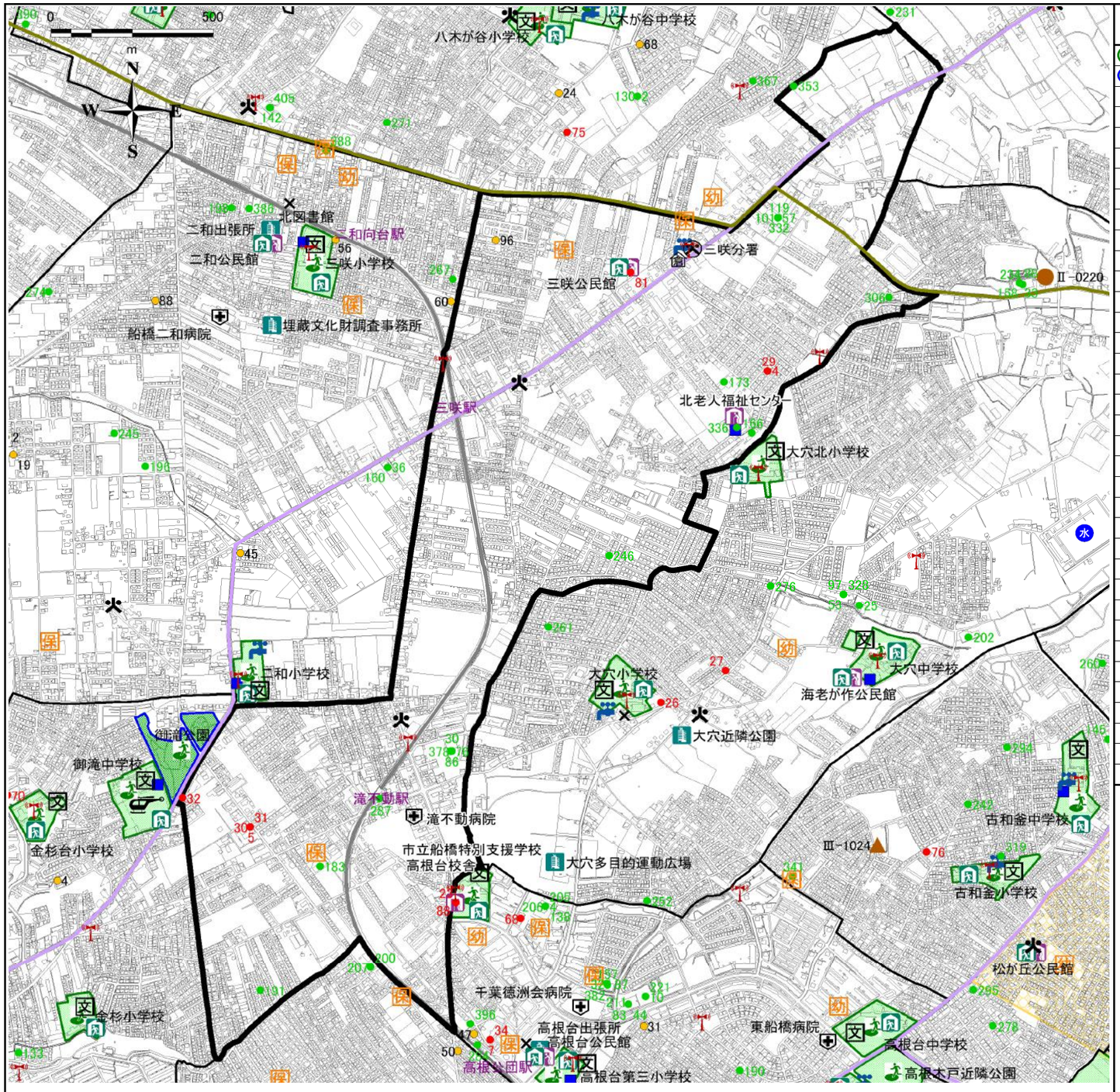
注:建物・人的被害の数値は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

○防災上の課題

・千葉県北西部直下地震の際には、一部を除き概ね地区全般で震度６弱の揺れが予想されている。また、液状化の危険性は一部の河川沿いを除き地区全般で低い。建物被害は住宅密集地を中心に点在しており、建物の耐震化対策や、室内における家具等の転倒防止対策、発災時の避難・救助行動を予め確認することが重要となる。

・台地上の凹地や河川沿いなどにおいて、道路冠水などの浸水事例が幾つか確認される。透水性舗装の利用などの、雨水の地盤への浸透能力や排水能力の向上が課題となる。

・地区内に三咲公民館（宿泊可能避難所、福祉避難所）と北老人福祉センター（福祉避難所）があるが、地区の北東に偏っており、日頃から隣接する地区の避難場所や避難所を確認し、避難ルートを検討しておく必要がある。



平成30年度作成

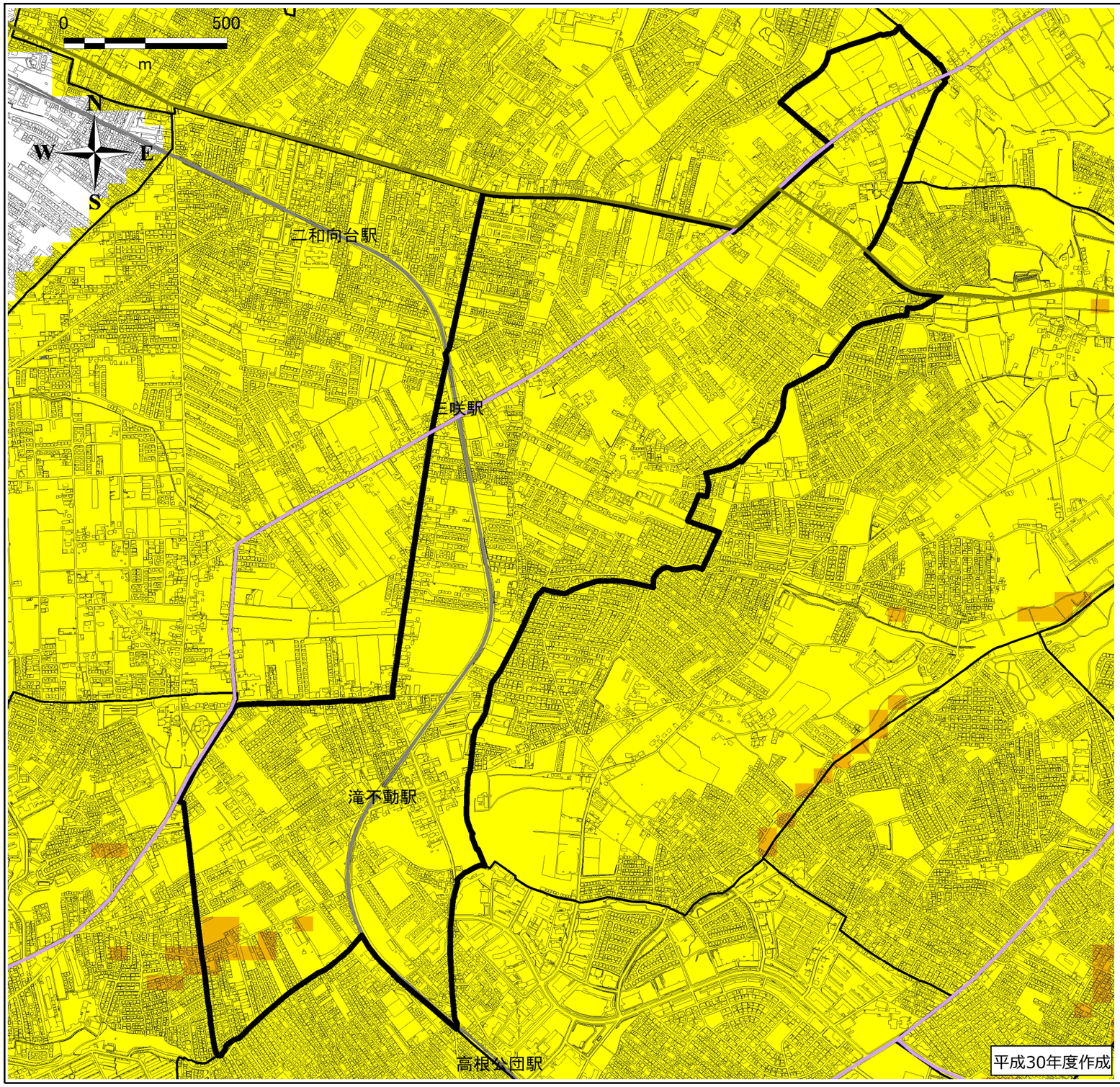
凡例		地区内の数
	一時避難場所	0箇所
	広域避難場所	0箇所
	宿泊可能避難所	1箇所
	福祉避難所	2箇所
	津波一時避難施設	0箇所
	帰宅困難者支援施設	0箇所
	避難施設（市外）	
	ヘリコプター臨時離発着場	0箇所
	防災行政無線	4箇所
	防災用井戸	1箇所
	防災倉庫	1箇所
	水防倉庫	0箇所
	消防署	1箇所
	消防団器庫	2箇所
	警察署	0箇所
	交番・駐在所	0箇所
	災害拠点病院、災害医療協力病院	1箇所
保	保育園	3箇所
幼	幼稚園	0箇所
図	学校、大学等	0箇所
	障害者福祉施設	1箇所
	高齢者福祉施設	17箇所
	児童福祉施設	7箇所
水	給水施設	0箇所
	その他の公共施設	0箇所
	耐震性貯水槽（100m³）	1箇所
	緊急輸送道路（県指定）	
	緊急輸送道路（市指定）	
	浸水の恐れがあるアンダーパス	0箇所
	重要水防区域	0区域
	宅地造成工事規制区域	0区域

土砂災害危険箇所（県公表）：急傾斜地		
	Ⅰ：人家が5戸以上	0箇所
	Ⅱ：人家が1～4戸	0箇所
	Ⅲ：住宅等立地可能性有	0箇所

メモ欄　（気づいたことをメモしましょう）

地震危険性分布図（想定震度）　12．三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12



凡 例

想定される地震動の強さ
－千葉県北西部直下地震のケース－

- 6強
- 6弱
- 5強
- 市域外
- 緊急輸送道路（県指定）
- 緊急輸送道路（市指定）

地震の様相

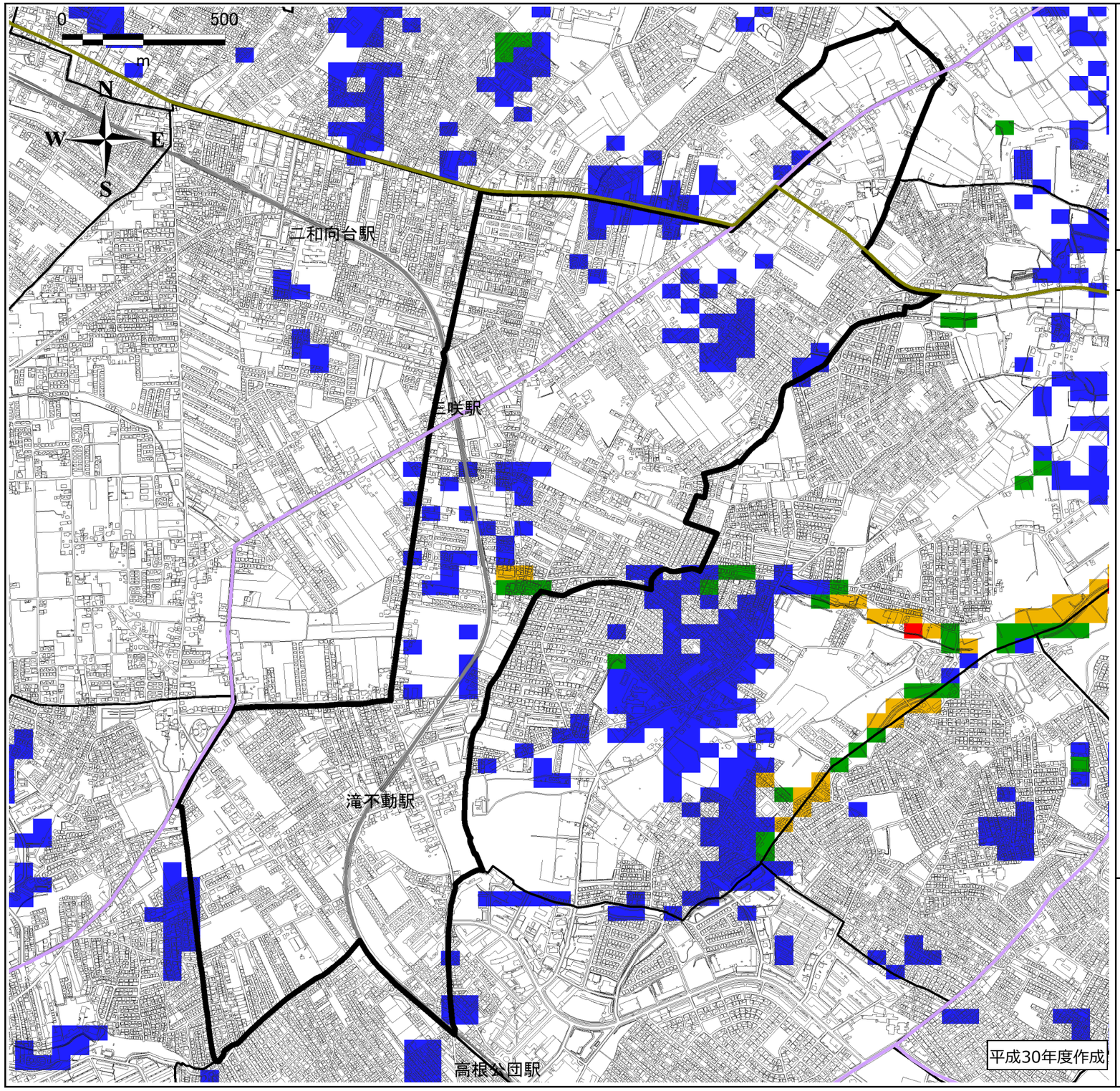
6強	●這わないと動くことができません。飛ばされることもあります。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。 ●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れる物が多くなります。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が生じることがあります。
6弱	●立っていることが困難になります。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。 ●ドアが開かなくなることがあります。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損したり、落下したりすることがあります。 ●耐震性の低い木造建築物では、瓦の落下・傾き・倒壊が生じます。
5強	●物につかまらないと歩くことが難しくなります。 ●棚にある食器類や本が多く落ちます。 ●固定していない家具が倒れることがあります。 ●未補強のブロック塀が崩れることがあります。

参考：気象庁震度階級関連解説表

メモ欄　（気づいたことをメモしましょう）

地震危険性分布図（液状化）　12. 三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12



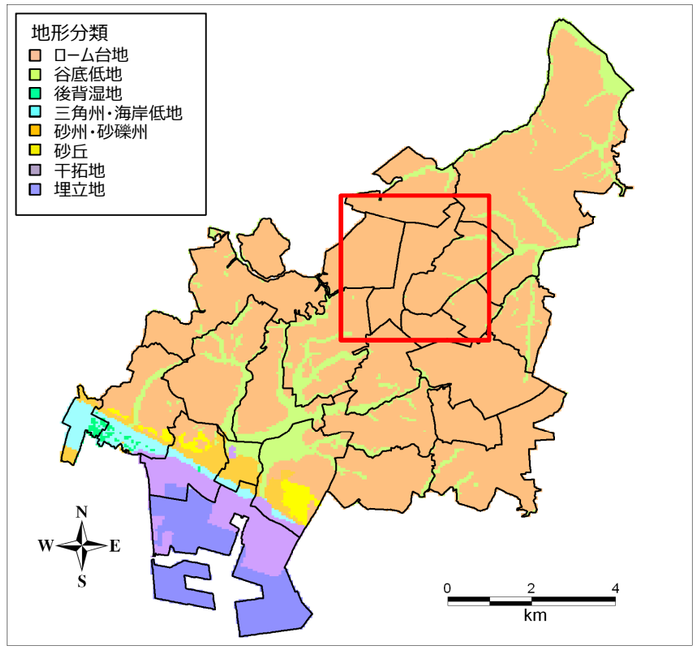
凡 例

想定される液状化の危険性
－千葉県北西部直下地震のケース－

- 極めて高い
- 高い
- やや高い
- 低い
- なし・市域外

- 緊急輸送道路（県指定）
- 緊急輸送道路（市指定）

地形分類図

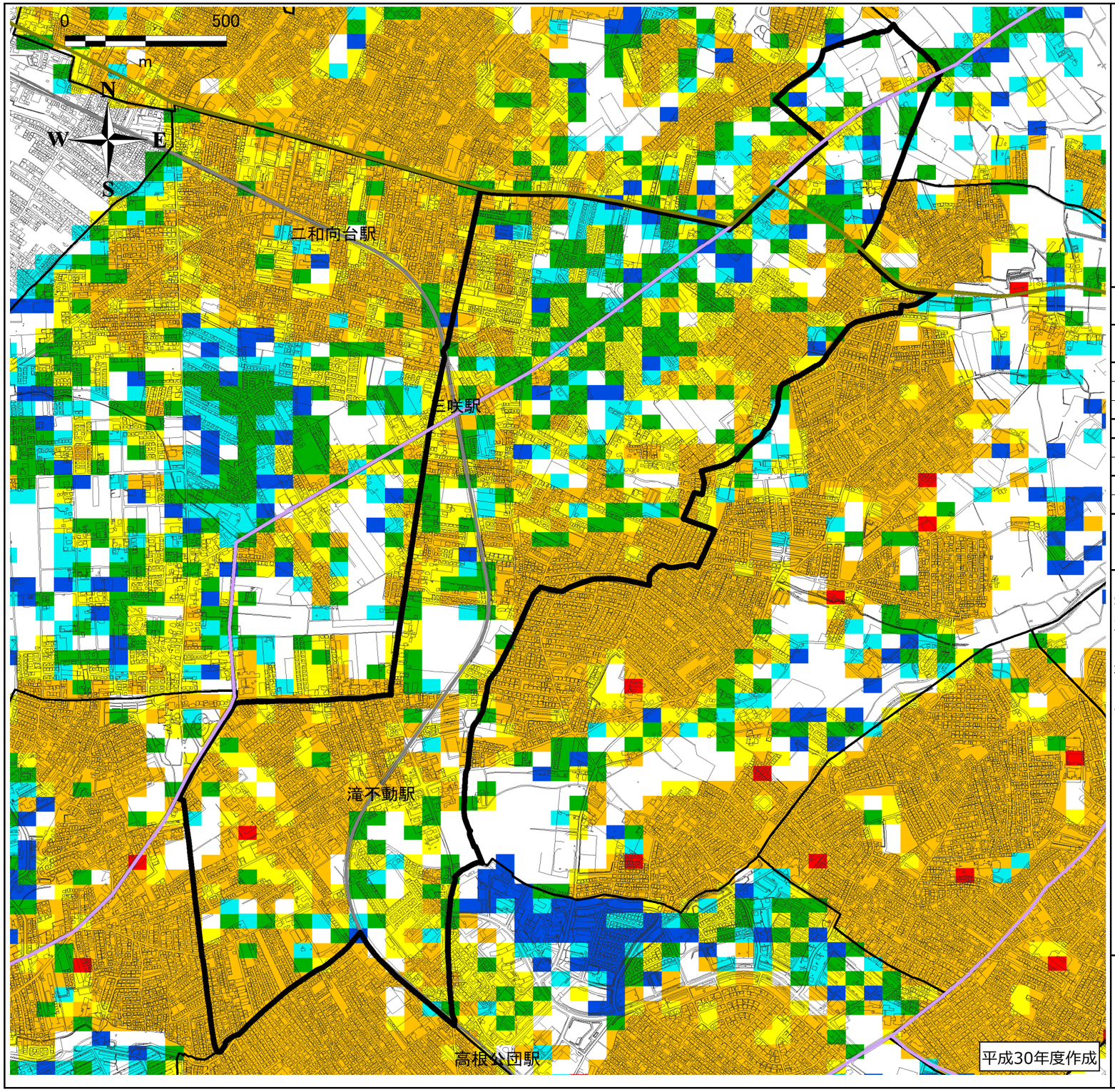


※平成22年度「船橋市防災アセスメント調査及び地区別防災カルテ作成業務報告書」より抜粋

メモ欄　（気づいたことをメモしましょう）

地震危険性分布図（建物被害）　12. 三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12



凡 例

想定される建物被害（半壊以上）
－千葉県北西部直下地震のケース－

全半壊棟数（棟）
- 5 － 10
- 1 － 5
- 0.5 － 1
- 0.25 － 0.5
- 0.1 － 0.25
- 0 － 0.1
- なし･市域外

緊急輸送道路（県指定）
緊急輸送道路（市指定）

●原因別建物被害想定

原因	全壊棟数（棟）		半壊棟数（棟）	
	木造	非木造	木造	非木造
地震動（揺れ）	190	11	502	34
地盤の液状化	0	0	0	0
合計	190	11	503	34
急傾斜地崩落		0		0
総計		201		537
割合（対地区）		4.1%		11.0%
市の合計		11,448		20,770
割合（対市被害）		1.8%		2.6%

注:建物・人的被害の数値は小数点以下を四捨五入しており、表の合計値と合致しない場合があります。

●地震への対策

被害想定の数字を公表する目的は、被害の数を知ってもらうことではありません。その被害の中に、皆さん自身や家族が巻き込まれてしまわないように、一人ひとりが努力するきっかけとなることを目的としています。

地震の強さそのものを弱めることはできませんが、強い家へ建て替えたり、家具の固定を進めたりすることで、被害量を減らすことが出来ます。

皆さんの地震対策について、以下の事柄が当てはまるかどうか、チェックしてみましょう。

【住宅の耐震性】（昭和56年6月より前に建てられた家に住んでいる方）
- □ 家の耐震診断を受けた。
- □ 家の耐震改修をした。

【家具の固定など】
- □ 家具は倒れないように固定されている。
- □ 家具の上に危険な物を置かないようにしている。
- □ 寝る場所の近くには、倒れてきそうな家具は無い。
- □ 万が一、家具が倒れても、部屋の出口はふさがれない。
- □ 家具の固定器具や粘着性マットの点検を定期的に行っている。
- □ 感震ブレーカーを設置している。

メモ欄　（気づいたことをメモしましょう）

水害・土砂災害危険性分布図　12．三咲地区

北部　地域　　地区名：三咲　　地区番号：12

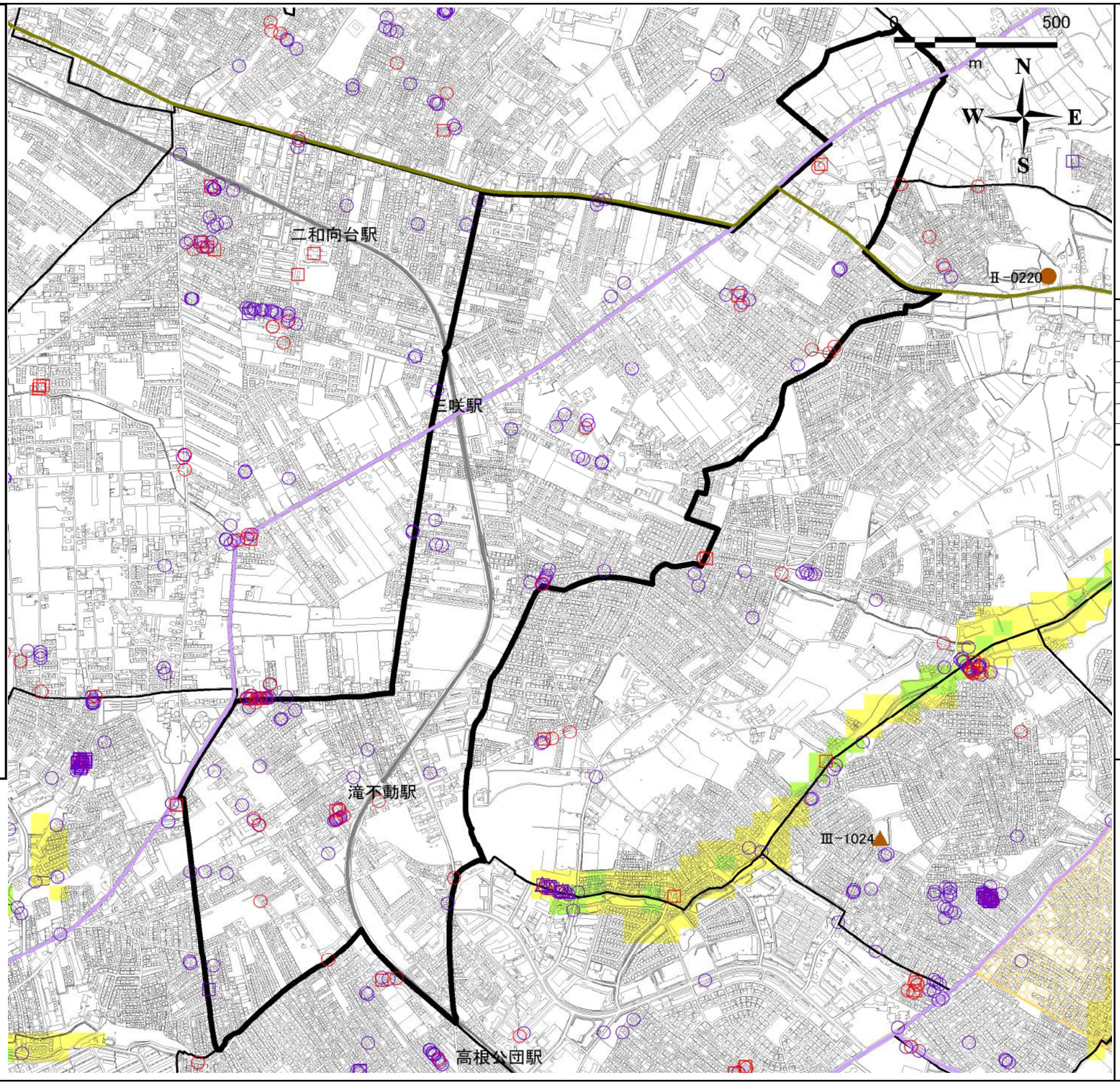
この地図の浸水域は、以下の前提に基づき、各河川が浸水した場合の浸水域を重ね合わせています。

■利根川水系利根川（想定最大）：利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm（利根川上流河川事務所、利根川下流河川事務所、平成29年）
■利根川水系江戸川（想定最大）：利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm（江戸川河川事務所、平成29年）
■利根川水系真間川（二和川）：昭和33年9月洪水（狩野川台風）最大60mm/h、総雨量332mm（千葉県真間川改修事務所、平成18年）
■海老川水系海老川（長津川、飯山満川）：最大70mm/h、24時間で総雨量252.5mm（千葉県葛南地域整備センター、平成18年）
■13河川（上長津川、貝塚川、長津川、前原川、中野木川、飯山満川、念田川、北谷津川、木戸川、三咲川、駒込川、鈴身川、海老川）の外水氾濫と内水氾濫（対象：湊町地区（全域）・宮本地区（湊町地区と接している西部の一部））：最大70mm/h、24時間で総雨量252.5mm
（木戸川、三咲川、駒込川、鈴身川は最大64mm/h、総雨量206.0mm）（船橋市、平成19年）

この地図の高潮被害の可能性がある区域は、以下の想定結果を用いています。

■室戸台風級（911hPa）（国土交通省 港湾局、平成21年）

平成30年度作成



凡 例

水害危険性の分布

河川からの想定浸水深さ(m)

5.0-
3.0-5.0
2.0-3.0
1.0-2.0
0.5-1.0
-0.5

高潮被害の可能性がある区域
緊急輸送道路（県指定）
緊急輸送道路（市指定）
堤防など
水門
陸こう
浸水の恐れがあるアンダーパス
重要水防区域

通報・警戒等による水害活動履歴

	H24以前	H25～H29
床上浸水	△	△
床下浸水	□	□
道路冠水	○	○

土砂災害危険性の分布

土砂災害危険箇所（県公表）：急傾斜地

Ⅰ：人家が5戸以上
Ⅱ：人家が1～4戸
Ⅲ：住宅等立地可能性有

宅地造成工事規制区域

メモ欄　（気づいたことをメモしましょう）

三咲地区内の一時避難場所･広域避難場所･宿泊可能避難所一覧

北部　地域　　**地区名：三咲**　　**地区番号：12**

平成30年度作成

施設名	所在地	電話 FAX	海抜	一時避難場所※ （グラウンド等）	広域避難場所※	災害種別 洪水	高潮	土砂	地震	津波	火災	火山	宿泊可能避難所	屋外有効面積 屋外収容人員	（発災直後） 屋内有効面積（70%） 屋内収容人員	（発災後3週間目以降） 屋内有効面積（50%） 屋内収容人員	最寄りの町丁目名
三咲公民館	三咲3-5-10	448－3291 448－3659	27m	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	903m^2 451人	645m^2 161人	三咲2･3丁目
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

：防災用井戸設置場所　　：マンホールトイレ設置場所

※ 一時避難場所及び広域避難場所については、洪水、高潮、土砂、地震、津波、大規模な火災、火山現象等の災害時を対象とします。ただし、「×」の記載がある災害時には、当該避難場所へは避難できません。

三咲地区周辺の避難施設等

施設名	所在地	施設名	所在地
金杉小学校	金杉8-10-1	八木が谷中学校	八木が谷2-9-1
御滝中学校	金杉6-5-1	県立船橋北高等学校	神保町133-1
御滝公園	金杉6-26	大穴北小学校	大穴北1-7-1
二和小学校	二和東1-9-11	大穴小学校	大穴南2-7-1
三咲小学校	二和東5-39-1	船橋特別支援学校 高根台校舎	高根台2-1-1
八木が谷小学校	八木が谷2-3-1	－	－

避難施設のあらまし

一時避難場所	一時的に避難するための場所で、学校の校庭や公園など屋外のオープンスペースです。
広域避難場所	火災の延焼の危険性があるとき、一時的に避難する場所で、安全確保のため一定の広さを有する屋外のオープンスペースです。
宿泊可能避難所	自宅で生活ができない被災者への宿泊や食料などを提供する屋内の仮宿泊施設で、主に学校の体育館などを受け入れ場所とします。